

2026.04.10

(一社)日本実験動物技術者協会総会 全国大会における

# 業界アワード選出方針 2026年度版

- 3業界団体の選出方針 -

# 業界アワードについて

## (背景)

(一社)日本実験動物術者協会(以下、実技協)の全国大会において演題登録・発表を行った方の中から本アワード受賞者を選出する制度が始まった経緯について、詳細は明確ではありません。しかし、日本実験動物協同組合様の記録によると、2000年前後から業界(日本実験動物協同組合様、日本実験動物器材協議会様、日本実験動物飼料協会様の3団体)によるアワード受賞者の選出が始まったものと推察されます。

アワードの表彰開始からすでに25年以上が経過し、実験動物業界を取り巻く状況は大きく変化しました。近年では、実験動物や動物実験に求められる内容も多様化し、アニマルウェルフェアに配慮した質の高い業務の提供が求められています。

実技協では、本業界アワードが関係者の皆様にとって日々の業務に誇りを持ち、より質の高い業務の提供を目指す励みとなることを期待しております。このたび、3業界団体様にもこの趣旨にご賛同いただき、選出方針の見直しを行うこととなりました。

## (業界アワード選出の意義)

- ✓ 各業界の質を上げ、切磋琢磨して現場を維持管理していくため
- ✓ 業界にかかわる実験動物技術者をはじめとする関係者の方たちのモチベーションをあげ、適正な飼育管理の実現を目指すため
- ✓ アワードを活用して、各業界の時代に応じた対応を進めるため
- ✓ 実技協・全国大会への演題登録数を増やし、参加者の増員を見込むとともに、大会の質の向上にも貢献するため

## (業界アワード選出方針の見直し)

アワードの選出・表彰が始まって25年を経過していることもあり、現場に携わる方々が多く発表される実技協総会に沿う形でのアワード選出となるように、3業界団体様に方針の見直しをお願いいたしました。

また、業界団体様より選出対象と考える事例等のご紹介も示していただくことにいたしました。

# 日本実験動物協同組合様 アワード選出方針

## 基本要件

実験動物に関する演題であること

## 選出の方針・対象

- ✓ 実験動物の使用拡大や活性化に繋がる内容
- ✓ 実験動物の改良に関する内容
- ✓ 実験動物の性差の偏重利用を軽減させる内容
- ✓ 実験動物の取り扱いや馴化等について、改良や改善等が図れる内容
- ✓ 実験動物の飼育環境の改良が期待できる内容
- ✓ 実験動物の意義に関する普及啓発や情報の公開・発信など、先駆的な内容
- ✓ 実験動物の利用に関して革新的な内容 など

選出は、応募いただいた演題要旨の内容を事前に関係者にて検討します。

# 日本実験動物協同組合様 アワード選出方針

(対象演題例) 今までに選出された演題(欠番:不明あるいは対象者なし)を参照のこと

総会	演題名
第31回総会 1997年	～ 第34回総会 2000年 不明
第35回総会 2001年	ヒト・プロト型c-Ha-ras遺伝子導入マウスの計画生産
第36回総会	CSK ミニ豚(ゲッチンゲン系由来)の発情期をよりの確に把握するための観察方法について
第37回総会	肺パスツレラ用分離培地を用い各種動物から分離した菌株の生物学的性状
第39回総会 2005年	当施設におけるブタ心筋梗塞モデル作製方法及びその成績について
第40回総会	技術者のできる動物福祉への対応
第42回総会	脱毛症自然発症ラットモデル系統の樹立
第43回総会	PMSGを単回投与した雌マウスは良好な発情誘起と繁殖能を示す
第44回総会	新規なラット体外受精法の確立
第46回総会	死体から採取したマウス精子の凍結保存と体外受精
第48回総会	動物福祉を考慮したカニクイザルの馴化・条件付けによる無拘束投与・採血法の開発
第49回総会 2015年	BMY法を用いたマウスの新規人工授精法の確立
第50回総会	繁殖困難なマウス系統への生殖工学技術の応用
第51回総会	多くのマウス系統で効果的な新しい過排卵誘起法
第52回総会 2018年	報酬を用いたカニクイザルトレーニングの確立
第53回総会	～ 第59総会 2025年まで 受賞演題なし

- ✓「業界利益となる内容。実技協との重複を避けるため福祉の内容は選ばない。」こととした。
- ✓ 2020年1月理事会にて、次回は「両性使用」「性差」の内容を基準とする旨が共有された。

# 日本実験動物器材協議会様 アワード選出方針

## 基本要件

実験動物用飼育器材に関する演題であること  
(ただし、商品広告的な性質ではないことが望ましい)

## 選出の方針・対象

- ✓ 特に着目点・努力・影響力に注目する
- ✓ 器材協会員全員で評価を行う

### (対象演題例)

- ・ 新規器材提案
- ・ 器材改良提案
- ・ 器材使用方法提案
- ・ 器材比較 など

# 日本実験動物飼料協会様 アワード選出方針

## 基本要件

実験動物用飼料もしくは栄養学を対象とした研究、もしくは生理学的、栄養学的に有用な研究であること

- ⇒ 実験動物技術者ならではの視点による工夫や取組みも含め、「飼料」を題材にした演題  
(ただし、商品広告的な性質ではないほうが望ましい)

## 選出の方針・対象

- ✓ 基礎から応用まで幅広いテーマを歓迎する
- ✓ 持続可能性や社会的意義に着目し、代替タンパク源や未利用資源の活用など、将来性を見据えたテーマを歓迎する

選出は、応募演題の要旨集の内容を中心に関係者にて実施します。

## 日本実験動物飼料協会様 アワード選出方針

### (飼料に関する演題例)

- ・ 飼料保管庫の害虫対策の工夫と効果検証
- ・ 緊急時の代替飼料／食品の検討(嗜好性・栄養評価)
- ・ 飼料形状・給餌方法の違いによるエンリッチメント評価 など

### (栄養に関する演題例)

- ・ 飼料成分や添加物が生体機能や生理応答に与える影響
- ・ 成分組成の違いによる腸内環境や免疫応答への影響評価 など

# 実技協総会に演題登録を予定されている みなさまへ

3業界団体様のアワード選出方針をご確認いただき、日々の業務を実験動物関連業界への一つの布石とすべく、業界アワードへのご応募を積極的にご検討ください！

## 方法:

演題登録時に、各業界団体様へのアワード選考へ応募するか否かを選ぶ項目を設けます。